

【ワークショップ】

(公社)砂防学会研究集会 有珠山次期噴火時の土砂災害シナリオ 作成と効果的な減災技術手法についての総合研究

主催：有珠山土砂災害減災技術研究会

本研究集会(2021年～2023年)は、有珠山次期噴火時の土砂災害減災に資する技術課題について、研究・技術開発を継続推進し、効果的な土砂災害減災技術手法を提案することを目的とします。今年度は、研究集会メンバー等による技術開発や研究の成果について話題提供し、行政担当者を交えて情報交換、議論します。

日時：2022年11月11日(金) 13:30-15:30

場所：洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス西館2階「四季」

<https://www.toyamanseikaku.jp/access/>

- 有珠山周辺の溪流における緊急減災対策
柳井一希、塩野康浩(国土防災技術北海道株式会社) ※オブザ-バ-参加
- 可搬型気象ドップラーレーダーによる降雨観測の研究紹介
鶴巻亮一 松岡直基 小林利章 金子 徹(株式会社北海道気象技術センター)
小倉勉 瀧谷克幸(一般財団法人 日本気象協会北海道支社)
- 活動中の火山地域における三次元地形データ取得方法について
高貫潤一 齋藤はるか(朝日航洋株式会社)
- 有珠山入江川における小型無人ヘリ調査について ※オンライン発表
早川智也(日本工営株式会社) 本間雄介(国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部苫
小牧砂防海岸事務所) 村上泰啓(国土交通省北海道開発局兼北海道大学広域複合災
害研究センター) 山田孝(北海道大学)
- 有珠山噴火を想定したUAVによる調査の現状と課題(仮称)
村上泰啓(国土交通省北海道開発局兼北海道大学広域複合災害研究センター)
- マルチコプターによるLP地形測量とそのデータ活用(仮題)
村林孝則 伊藤学史(株式会社レンタコム北海道) ※オブザ-バ-参加
- 降灰後土石流の氾濫範囲推定に関する最近の取組み(仮題)
今森直紀 佐野泰志 清水武志(国立研究開発法人 土木研究所) ※オブザ-バ-参加
- 降灰後の泥流発生と流木流出、火砕サージからの避難
山田孝(北海道大学)
- 火山地域における砂防構造物に必要とされる性能
松村和樹((株) インボックス)
- 1977年、2000年火山灰のソイルセメントとしての適応性評価
秋山祥克((株) インボックス)

有珠山2000年噴火時に発生した熱泥流
被害の減災に貢献した砂防施設(1977年
噴火後に施工)(北海道 写真提供)

参加無料